

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	十字園グループホーム
日付	平成17年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 介護支援専門員歴4年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成2年、高齢者の福祉施設が欲しいという市町村の要請から出発し、現在では法人のもつ在宅サービス・施設サービスの中にグループホームは位置し、法人全体が村の中で一つのコミュニティーになってきました。 ・山や畑、自然に恵まれた立地条件の中で、入居者は、自由に伸び伸びと明るく生活をされています。 ・法人理事長は、法人全体のケアの質の向上に意欲的で、グループホームだけでなく法人全職員に積極的な研修教育をされています。 ・入居者の人格の尊重の面から、入居者自身の判断を優先する姿勢が徹底できています。 ・法人全体の連絡網が整備されており、夜間緊急時についても、安全面を確保する体制ができています。 ・年間防災計画が立てられ、年1回の防災訓練と毎月の防災研修が実施されています。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの全職員を対象とした職員会議を定期的開催し、そして、その会議の記録も残されることが必要ではないでしょうか。 ・法人内で開催されている認知症の理解や関わり方についての教室や研修活動を、地域向けにも開放されてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<p>・これまで、頑張っ生きてこられた成人として、入居者一人ひとりの自尊心を尊重して支援しています。</p> <p>・入居してから、家族とのつながりを大切に生活を支えています。</p> <p>・できるだけ自立した生活をめざし、自分の判断で見つけていく役割や生きがいをさりげなく見守り、支援をしています。</p> <p>・ホーム内だけの生活ではなく、法人内の施設間の交流や地域の活動に参加することを支援しています。</p> <p>・広報誌に掲載されていた「日常どこにもあるほんの少しの幸せの積み重ねが大きな幸せ、楽しみにつながると考えて日々の支援をすることが大切な役割と思っています。」という職員の言葉にあるように、日々の生活を大切に生活を支えています。</p>				

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周リや空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<p>・ホームのドアは、施錠されておらず、入居者が自由に外(菜園、花壇など)に出られる環境を作っています。</p> <p>・生活環境を変えることが、入居者の混乱を招くことから、リビングや居室の掃除の時にも、家具の位置や、入居者の小さな持ち物の置き場を変えないように配慮しています。</p>				

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	心身機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<p>・若いころの経験をもとに、自身で判断して生活している入居者の思いを大切に、満足感を持てるように見守っています。</p> <p>・居室に入るときは、必ずノックをしたり、了解を取っています。</p> <p>・個人情報保護の観点から、居室の名札を希望者のみかかっています。また、面会簿に工夫をして、他の面会者の名前が見えないようにしました。</p>				

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<p>・サービスの質の向上に向けて、法人代表者と職員は研修に意欲的に取り組んでいます。例えば、高齢者の安全と心身機能の維持に向けて、リスクマネジメントの研修に法人の全職員が参加しています。</p> <p>・ヒヤリハットの記録内容も、ヒヤリとする直前の入居者の動きが、わかりやすく記述され、経過をたどることによって、今後の対応策と改善が検討しやすくなりました。</p> <p>・年間の防災計画がきちんと立てられ、毎月の研修計画がありました。</p>				